

## 研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 8月  
福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座 古屋文彦

### 研究課題名

甲状腺癌の予後・再発に関する危険因子の研究

### 研究期間

2024年10月 ~ 2029年12月

### 研究の目的・意義

甲状腺癌は、5年生存率が95%を超える一般的には予後良好な癌とされますが、一部のハイリスクな甲状腺癌は手術後5-10年の経過でリンパ節や他臓器への転移再発がみられることもあります。今回の研究は、手術前に甲状腺癌の長期予後を予測するようなバイオマーカーを探索することを目的としています。手術前に予後を推測できることで、放射性ヨウ素内用療法などの追加治療を行うかどうか、またそのタイミングをいつにするかなどを決定することが可能となります。

### 研究対象となる方

先行研究(承認番号:29195「甲状腺結節の生物学的特性の解明」)への参加に同意いただいている方が対象です。

### 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、臨床病理学的因子、治療内容、手術に関する臨床病理学的因子、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。また、手術検体から抽出したDNA, RNAから得られた実験結果を収集します。

### 情報の利用を開始する予定日

2024年10月1日

## 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座であり、研究責任者は甲状腺内分泌学講座 古屋文彦です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座で利用し解析を行います。

## 他の機関などへの情報の提供について

行いません

## この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座 担当：塩功貴

電話：024547-1914

e-mail：dte@fmu.ac.jp